日本人の良さが低下している！？

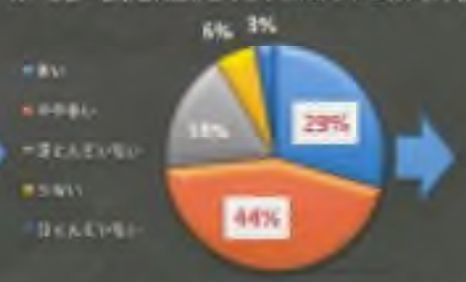
～日本人の良さってなに？～

日本では、１９５０～１９７０年代にかけ、駅のホームでの整列や降りる人優先が盛んに呼びかけられました。現在ではマナーとして定着しています。また、いろいろな場面で「日本人の良さ」、「日本人らしさ」という言葉が使われています。そこで、「日本人の良さ」とは何か、また、その良さは時代とともにどのように変化しているのかについて、知ることを目的としています。

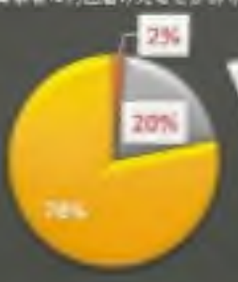
①駅構内や街頭などで落とし物を見つけた時、交番・警察署に届けるべきだと思いますか？



②あなたの周りの人は、道路や公園などで財布を見つけた時、交番・警察署に届けようとする人が多いと思いますか？



③過去３年間で道路や公園などで落とし物を見つけた時、交番・警察署に何回届けたことがありますか？

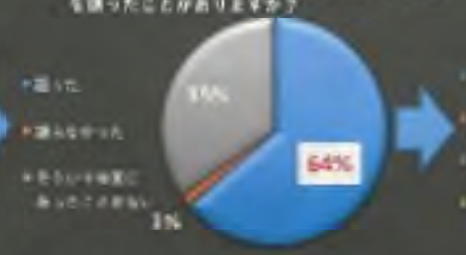


①のグラフでは、ほとんどの人が落とし物を届けるべきだと感じている。②のグラフでは自分の周囲の人は落とし物を届けるだろうと思っている人は約７５％であった。しかし③のグラフでは、実際に届けたことがあるのは、２０％にすぎなかった。この結果から、そういう場面にあった経験がなかったことや、思いを行動に移せていない人が多いためだと考える。

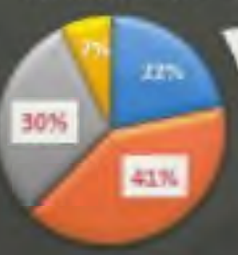
④電車やバスで、高齢者や身体の不自由な人に席を譲るべきだと思いますか？



⑤電車やバスで、高齢者や身体の不自由な人に席を譲ったことがありますか？



⑥譲った理由は何ですか？

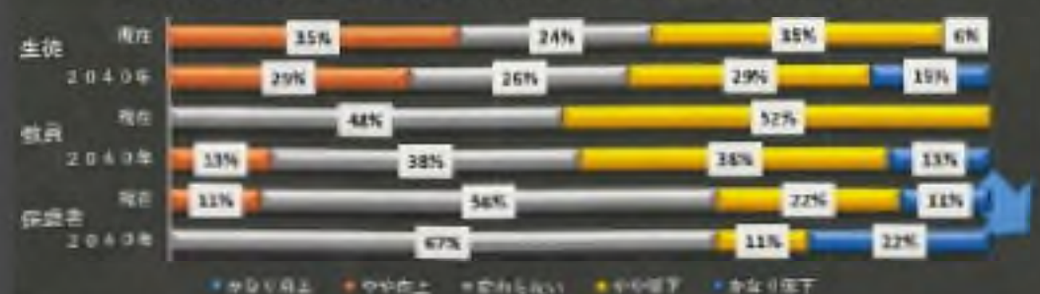


③のグラフでは、全員が譲るべきだとしており、⑤のグラフではほとんどの人が「譲った」としているため、思いを行動に移せている人が多いことが分かる。その理由として「高齢者や身体の不自由な人は優先されるべきだと思うから」や「譲るのが当たり前だと思うから」などが多かった。

⑦日本人と外国人を比べた時、日本人はそれぞれどれに当てはまると思いますか？



⑧日本人の良さはどのように変化していっていますか？



⑦のグラフでは、「誠実である」～「他人に迷惑をかけない」などの相手を思いやる要素が比較的高く評価されている。一方で、「自己主張ができる」～「多様な価値観を受け入れる」などの個人の主体性・多様性を重視する姿勢が低く評価されている。

⑧のグラフでは、全体的に現在から２０４０年にかけて、「かなり低下」と答えた人が増えている。しかし生徒は、現在・２０４０年とも「やや向上」が約３０％あり、約１０％に過ぎない教員や保護者とは異なっている。

⑨向上の原因



⑩低下の原因



⑨、⑩のグラフでは、それぞれ「SNSやインターネットの普及」が一番多く、SNSやインターネットのさまざまな考え方に触れたことで日本人の良さが変化したことが考えられる。

まとめ

日本人の良さとは、誠実さや礼儀正しさ、他人への思いやり、周囲に迷惑をかけないことなど、他者との関係を大切にする姿勢だと考えられる。調査からは、こうした良さが日本人の特徴として評価される一方、「自己主張」や「多様な価値観を受け入れること」などの個人の主体性・多様性を重視する姿勢は、まだ十分に評価されていないことが分かった。また、日本人の良さが将来低下すると考える人がいる一方、生徒には向上すると考える人も多く、世代による意識の違いも見られた。日本人の良さの変化の原因として「SNSやインターネット」の様々な考え方に触れたことで日本人の良さが変化したことが考えられる。つまり、日本人の良さは単純に「低下している」のではなく、社会の変化によって求められる形が変わっているのではないだろうか。これからは、思いやりや誠実さを大切にしながら、主体性や多様性を尊重する姿勢も加えていくことが、日本人の新しい良さにつながると考える。

アンケート：生徒３４人、教員２６人、保護者９人、合計６９人対象